

茅ヶ崎セントラルクリニック

松林 真理子 (医事課 / 事務部)

功 績 「マイナ保険証導入」に関連するリーダーシップと創意工夫により、院内の業務効率化、経費削減に貢献した功績

推 薦 者 若林陽盛 (事務長)

推 薦 理 由 業務に真摯に取り組む姿勢と、問題解決に向けた粘り強い努力で、当院の運営に大きく貢献しました。特に今回の「マイナ保険証導入」に関連する棚設置業務では、リーダーシップと創意工夫を発揮し、多くの課題を解決に導いたことにより推薦いたします

内 容

松林は入職して13年目の医事課職員です。普段は正確な請求業務と穏やかな性格で、患者さんはもとより、同僚にも好かれている職員です。

茅ヶ崎セントラルクリニックでは今後のDX化の一環として、マイナ保険証の導入、電子カルテとの連携を今年度より推進してきました。そんな中、マイナ保険証導入にあたり、当院では管理棟と本館2棟に対してカードリーダーが1台しかなく、さらに院内の空きスペースが限られているという課題がありました。

この状況の中、松林は設置場所や保険証確認方法をゼロから検討し、患者さんや職員にとって実用的かつ効率的な運用体制を構築しました。材料購入から周知活動、設置作業に至るまで、自らの手で一貫して進め、10月2日には初めての保険証確認を無事実施することができました。

また、ピーク時間帯の人員配置やスケジュール調整など、導入過程で発生する細かな問題にも柔軟に対応。患者さんが新たなシステムに慣れるまでの間、丁寧な説明と案内を行い、患者さんとのコミュニケーションの向上にも繋げました。これにより、今まで接点の少なかった患者さんとも会話の機会が増え、職員の中でも「患者さんの表情を見る機会が増えた」との声が上がっています。

さらに、他職員と連携しながら棚の作成や配線工事を低コストで実現。この取組みは組織全体の効率化と費用削減にも大いに貢献しています。

以上のように、松林の努力と工夫がなければ、マイナ保険証導入に伴う運用体制の構築は困難であったことは明白です。その功績は他職員にとっても模範となり、当院の業務改善の大きな一歩となりました。